
釣り方について考える (2017/9/5~2021/1/13の釣り日記からのまとめ)

バレるときの対応

<ドラッグ調整>

- ドラッグが緩すぎた。PEラインをぎゅっと(少し強めに)引っばるとラインが出るくらいがよかった。これで、釣れてからのバレが減った。(2018/3/26)
- 「前は、PEラインをぎゅっと(少し強めに)引っばるとラインが出るくらいがよかった。これで、釣れてからのバレが減った。」と記録したが、今日はいつもの堅さにした。PEラインを軽く引けば出るくらいの締め方とした。これにより、バレが頻発したということはなかった。(2018/4/1)

<鉤がダメ>

- 前回よく釣れたが、今回は釣れなかったという話をよく聞くが、9割がた鉤がダメになっている(DVDより)。3~4回バレたときに鉤を交換したら、バレがなくなった。バレの一番の原因は、鉤がダメになっていることを実感できた。(2018/3/26)

<ネットイン>

- ヒットしたからネットインするまで、竿先を下げるのではなく、水中に突っ込んだ方が、バレが減った。(2018/3/26)
- 前回「ヒットしたからネットインするまで、竿先を下げるのではなく、水中に突っ込んだ方が、バレが減った。」とあったが、水中に突っ込んででもバレがあった。そういうことでネットイン直前のバレを防ぐことはできなかった。(2018/4/1)
- ネットインする直前でばれるということが10尾以上あった。①ネットへの誘導の悪さ ②掛かりの浅さ ③ドラッグが前回よりも緩かった 何が原因かは不明。活性が前回より低かったのは事実であるが…。(2018/4/1)

<当たりの強さ>

- 10尾以上、ネットイン直前でバレた。特に、前半はばらしが多かった。当たりが弱く、マスが掛かってもネットインまでにバレそうな気がしたときは、バレることが多かった。後半は当たりが強く、バレる気がしなかった。「活性が低く、ちょっと喰ってくる時は、刺さりが浅くバレやすい。活性が高く、強くアタックしてくる時は、刺さりも深くバレない。」こんな感じがした。

<ルアーを吐き出す>

- 活性が高くない。追いかけてくることはある。追いかけてきたとき、スピードを上げると離れてしまう。ルアーを口に入れてすぐに離す。ルアーをつつつく。終日、鉤掛かりするような当たりが少ない。(2019/9/2)
→ ルアーを口に入れてすぐに離す時は、ねむりのある鉤にしてはどうだろうか。